

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こころねキッズ		公表日		令和8年3月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・学習室、訓練室、プレイルーム等区切りができています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	・職員数は充足している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	・障害者用トイレやエレベーターが設置している。 ・階段には手すり、施設内にはEVも設置されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・学習室や訓練室があり活動に応じて使用している。 ・個別訓練の際ボードに児童のカードを表示して誰が訓練中かわかる。 ・学習室や訓練室等を必要に応じて使用できるようになっている。	時折行事の物品を入れているときがありスムーズに活用できない場合があるため整理整頓を心がける。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	・毎月実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・毎年評価表を書いてもらいその内容を参考に業務改善につなげている。 ・極力意向に添えるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・毎日の朝礼や終礼、職員会議などで意見を出し合っている。 ・毎日の申し送り、月に一度の職員会議、年2回の管理者、役職者との面談を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	・よくわからない。	自己評価を行っているため引き続き行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・定期的に職員研修を行っており資質の向上を図っている。 ・定期的に法人研修や事業所内研修があり学ぶ機会がある。 ・2カ月に1回の法人研修や外部研修会には可能な限り参加している。		
酒	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	・ホームページに作成し公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	・面談や日々の連絡、相談などをもとに把握している。	アセスメントツールを活用していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	・職員間で子供の情報を共有し意見をもとに作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		アセスメントツールを活用していきたい。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・日々の活動を担当職員で考えたり話し合ったりして全員に共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・放課後や休校日も内容が固定化しないようにプログラムを考えている。 ・直近の内容が重複しないようにしている。 ・毎月月案に基づき活動計画を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	・個別活動では学習や訓練、ビジョントレーニングを行い集団活動ではレクや制作、SSTなど取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・毎朝ミーティングを行いその日の子供の状況や流れについて話し合っている。 ・朝礼、終礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・毎日終礼を行い1日の振り返りをしている。 ・朝礼、終礼を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・業務日誌など毎日作成している。 ・支援終了後に毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	・管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。また、必要に応じて専門職にヒアリングしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	・送迎時に情報共有したり保護者にも確認し合っている。 ・学校、保護者に依頼している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	1	・他の事業所との交流がある。 ・定期的に交流している。 ・他の事業所や高校との交流あり ・地域の子供と過ごす機会が少ない。	地域の子供との交流は声掛けしているがなかなか実施までいかない。他の事業所（放デイ）との交流会は行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・連絡帳、ライン、電話等で行っている。	ICTを活用していきたい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	・情報共有は行っている。	研修会等に参加していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	・契約時や面談、担当者会議等で行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	・説明行い同意得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・6か月ごとに面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	0	・作品等があり保護者同士の交流がある。 ・作品展など交流あり ・保護者会や作品展等を開催している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・訓練、研修会を行っている。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	・訓練、研修会を行っている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	・初回面談、契約時などに保護者からヒアリングしている。	
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	・保護者よりヒアリング等で対応している。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成し研修会、訓練等を行っている。	継続して行っていきたい。
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		家族へ周知が不足していると思われるため周知していきたい。
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	共有し振り返りを行い再発防止に努めている。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・法人研修や事業所内研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	・身体拘束は行っていない。		